

錯覚ワークショップ

―― 横断的錯覚科学は成立するか ――

2009年9月9日(水), 10日(木)

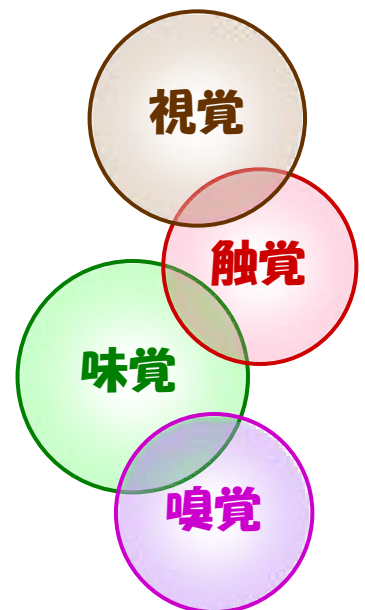
明治大学駿河台キャンパス紫紺館3階会議室

(JR御茶ノ水駅から徒歩5分 http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide)

入場無料

9月9日(水)

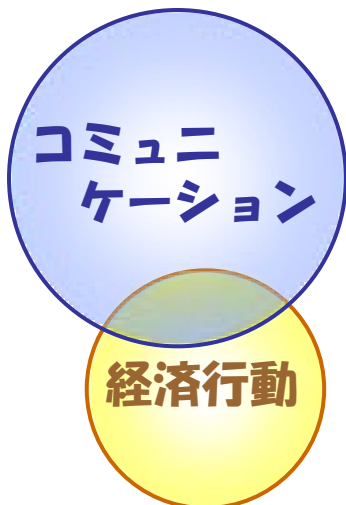
- 10:00-11:00 「コミュニケーションにおいて錯覚は悪いことなのだろうか？」
原島博 (東京大学名誉教授)
- 11:00-12:00 「数学的方法による錯視の研究」
新井仁之 (東京大学/JST さきがけ)
- 13:00-14:00 「味を目で見る, においを探す」
池崎秀和 (株式会社インテリジェントセンサー
テクノロジー代表取締役社長)
- 14:00-15:00 「インタラクティブ錯視・だまし絵 --- アートからゲームへ」
藤木淳 (九州大学/JSPS)
- 15:30-16:30 「認知的錯視—行動経済学の視点」 (仮題)
友野典男 (明治大学)
- 16:30-17:30 「距離によって見え方が変わる二重画像」
山口泰 (東京大学)
- 18:00-20:00 懇親会



から

9月10日(木)

- 10:00-11:00 「触覚の錯覚とバーチャルリアリティ」
梶本裕之 (電気通信大学)
- 11:00-12:00 「三次元映像は錯視だろうか? : 視覚特性について考える」
羽倉弘之 (東京大学)
- 13:00-14:00 「錯視・錯覚のオーバービュー」
北岡明佳 (立命館大学)
- 14:00-14:40 「高速道路のサグ部における傾斜の誤認と渋滞」
友枝明保 (明治大学/東京大学)
- 14:40-15:30 「錯覚は、足りない情報を補おうとして失敗したとき生じる
~『だまし絵』から『勘違い』まで」
杉原厚吉 (明治大学)



まで

主催: 明治大学先端数理科学インスティテュート
共催: 明治大学グローバルCOEプログラム「現象数学の形成と発展」
問合せ先: 明治大学先端数理科学インスティテュートプロジェクト研究
「錯覚の数理モデリングとその応用」代表: 杉原厚吉 kokichis@isc.meiji.ac.jp